

## 開 議

○蒲生光男委員長 おはようございます。

これより予算特別委員会を開きます。

本日の会議に欠席の通告委員は、4番、大道寺 信委員の1名であります。よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

それでは、去る1日の本会議において、予算特別委員会に付託になりました各会計予算案のうち、議案第1号 平成22年度長井市一般会計予算から議案第12号 平成22年度長井市水道事業会計予算までの平成22年度各会計予算並びに議案第38号 平成22年度長井市一般会計補正予算第1号の予算議案13件について審査を行います。

審査日程につきましては、既に配付されております会議日程表のとおりでありますので、ご協力をお願いいたします。

審査につきましては、初めに各会計予算の概要説明を受け、その後、総括質疑及び細部審査を行う予定でありますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

それでは、これより各会計予算の概要の説明を求めます。

**議案第1号 平成22年度長井市一般会計予算**

**議案第10号 平成22年度長井市用地特別会計予算**

**議案第38号 平成22年度長井市一般会計補正予算第1号**

○蒲生光男委員長 まず、議案第1号 平成22年

度長井市一般会計予算及び議案第10号 平成22年度長井市用地特別会計予算並びに議案第38号 平成22年度長井市一般会計補正予算第1号の3件について。

平 英一財政課長。

○平 英一財政課長 おはようございます。

それでは、議案第1号 平成22年度長井市一般会計予算の概要についてご説明いたします。

第1条の歳入歳出予算につきましては、予算の総額を歳入歳出それぞれ前年度対比1億3,800万円、1.3%増の108億円と定めるものでございます。

第2条の債務負担行為から第5条の歳出予算の流用につきましては、それぞれ条文または表のとおり定めるものでございます。

以下、事項別明細書によりご説明いたしますので、9ページをお開き願います。

初めに、総括表により款別の歳入歳出額についてご説明いたします。

歳入1款市税は、前年度対比2億855万2,000円、6.5%減の30億1,260万2,000円、2款地方譲与税は910万円、5.1%減の1億6,960万円、3款利子割交付金は120万円、10.1%増の1,310万円、4款配当割交付金は60万円、13.0%減の400万円、5款株式等譲渡所得割交付金は70万円、33.3%増の280万円、6款地方消費税交付金は2,460万円、8.2%減の2億7,440万円、7款自動車取得税交付金は130万円、2.9%増の4,660万円、8款地方特例交付金は150万円、3.3%減の4,410万円、9款地方交付税は1億9,400万円、5.0%増の40億5,800万円、10款交通安全対策特別交付金は20万円、3.9%減の490万円、11款分担金及び負担金は1,347万2,000円、9.3%増の1億5,779万6,000円、12款使用料及び手数料は1,054万3,000円、7.1%減の1億3,807万円、13款国庫支出金は5億660万4,000円、72.9%増の12億107万7,000円、14款県支出金は1億1,115万1,000円、20.6%増の6億

+

5,167万3,000円、15款財産収入は238万円、7.5%減の2,925万1,000円、16款寄附金は50万円、100.0%増の100万円、17款繰入金は4,796万2,000円、69.6%減の2,098万6,000円、18款繰越金は存目でございます。19款諸収入は129万円、0.8%減の1億5,724万4,000円、20款市債は3億8,420万円、32.1%減の8億1,280万円を計上しております。

10ページをお開き願います。歳出でございます。

1款議会費は、前年度対比298万4,000円、1.7%減の1億6,781万6,000円、2款総務費は8,417万7,000円、7.0%増の12億9,290万6,000円、3款民生費は4億8,227万7,000円、17.1%増の32億9,612万8,000円、4款衛生費は1,063万4,000円、1.0%減の10億5,653万6,000円、5款労働費は522万1,000円、6.2%減の7,964万円、6款農林水産業費は1,792万6,000円、4.8%減の3億5,318万2,000円、7款商工費は2,091万4,000円、6.7%増の3億3,260万1,000円、8款土木費は777万2,000円、0.5%増の15億4,749万8,000円、9款消防費は1,167万9,000円、2.1%減の5億5,105万6,000円、10款教育費は1,535万1,000円、2.0%増の7億9,389万8,000円、11款災害復旧費は存目でございます。12款公債費は4億3,204万7,000円、24.7%減の13億1,873万8,000円、13款予備費は800万円、400.0%増の1,000万円を計上いたしております。

次に、各項別の予算額についてご説明申し上げます。

11ページ、歳入でございます。1款1項市民税は、1目個人分で10億1,361万5,000円、2目法人分で2億299万5,000円を見込み、合計で前年度対比1億7,847万1,000円減の12億1,661万円を計上いたしております。

2項固定資産税は、12ページをお開き願います。前年度対比2,458万5,000円減の14億1,079万5,000円を計上いたしました。3項軽自動車

税は125万8,000円増の6,346万6,000円、4項市たばこ税は404万1,000円減の1億6,900万7,000円、5項入湯税は29万4,000円減の190万6,000円、6項都市計画税は、14ページをお開き願います、240万8,000円減の1億5,081万8,000円を計上いたしております。ゼロ項特別土地保有税は、22年度からなくなっております。

2款1項自動車重量譲与税は850万円減の1億2,350万円、2項地方揮発油譲与税は60万円減の4,610万円を計上いたしました。

3款1項利子割交付金から16ページをお開き願います。16ページ中段の10款1項交通安全対策特別交付金までは、先ほどご説明いたしました款別での金額と同額でございますので、説明を省略させていただきます。

11款1項負担金は、2目民生負担金に1億5,534万5,000円などを計上して、前年度対比1,347万2,000円増の1億5,779万6,000円を計上いたしております。

12款1項使用料は、2目民生使用料で4,082万9,000円、18ページをお開き願います、7目土木使用料3,589万4,000円などの計上で、前年度対比1,072万8,000円減の1億1,866万5,000円を計上いたしております。19ページ、2項手数料は、1目総務手数料1,788万4,000円の計上などで、前年度対比18万5,000円増の1,940万5,000円の計上となりました。

20ページをお開き願います。13款1項国庫負担金は、民生費国庫負担金がほとんどを占めておりますが、子ども手当扶助費負担金3億6,633万3,000円の新設などによりまして、前年度対比3億6,041万2,000円増の8億9,955万8,000円を計上いたしております。2項国庫補助金では21ページになりますが、4目土木費国庫補助金の地域活力基盤創造交付金の増額などで、前年度対比1億4,434万6,000円増の2億9,063万9,000円を計上いたしました。22ページをお開き願います。3項委託金につきましては、

2目民生費委託金の子ども手当事務取扱交付金の増額などで、前年度対比184万6,000円増の1,088万円の計上であります。

14款1項県負担金は、国庫負担金と同様に1目民生費県負担金がほとんどを占めておりますが、前年度までの商工費県負担金3,000万円などがなくなったことから、前年度対比2,050万7,000円減の3億934万円の計上となりました。2項県補助金は、2目民生費県補助金の増額や、1目から少し飛びますが25ページをお開き願います。7目教育費県補助金までに全般にわたって山形県ふるさと雇用再生特別基金事業費補助金と、山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費補助金を計上しましたことから、前年度対比1億2,717万1,000円増の2億5,573万5,000円の計上となっております。3項委託金は、1目総務費委託金7,907万6,000円などが主なものです。27ページをお開き願います。27ページの最下段になりますが、合計で前年度対比448万7,000円増の8,659万8,000円の計上であります。

28ページをお開き願います。15款1項財産運用収入は、普通財産の貸付収入1,651万3,000円などで、前年度対比233万5,000円減の1,862万6,000円を見込み、2項財産売払収入では、法定外公共物の売払収入800万円などで、前年度対比4万5,000円減の1,062万5,000円を計上いたしております。

16款1項寄附金につきましては、長井市ふるさと応援寄附金100万円を見込み計上しております。

17款1項特別会計繰入金は、国民健康保険特別会計からの繰入金として前年度対比61万2,000円増の1,826万円を計上、2項基金繰入金では、新たに2目ふるさと応援基金繰入金132万9,000円を計上いたしましたが、昨年度の地域活性化生活対策基金繰入金がなくなりましたことから、前年度対比4,857万4,000円減の272万6,000円の計上となっております。

18款1項繰越金は存目計上であります。

19款1項延滞金、加算金及び過料は、前年度対比50万円増の750万円、2項市預金利子は前年度同額40万円計上であります。30ページをお開き願います。3項貸付金元利収入は、心身障がい者福祉事業貸付金元利収入がなくなりましたことなどで、前年度対比100万円減の7,947万6,000円を計上いたしております。4項雑入は、1目1節保健事業個人負担金1,376万3,000円などで、31ページの下段になりますが、合計欄ですが、前年度対比79万円減の6,986万8,000円を計上いたしております。

20款1項市債は、1目総務債で、借換債をなくしたことによる減額や、32ページをお開き願います。4目土木債で、土地開発公社経営健全化対策債などがなくなりましたことによる減額などで、前年度対比3億8,420万円減の8億1,280万円の計上となりました。

次に、33ページ、歳出についてご説明申し上げます。

それでは、1款1項議会費は、議員報酬や職員人件費を始めとする経常経費などで、前年度対比298万4,000円減の1億6,781万6,000円を計上しております。

34ページをお開き願います。2款1項総務管理費は、1目一般管理費の経常経費などで6億1,154万6,000円を計上し、少しページが飛びますが、37ページをお開き願います。4目財産管理費、庁舎等維持管理経費や公用車管理経費で1億3,613万円を計上、39ページをお開き願います。6目企画費では、右説明欄中段の市営バス運行事業1,032万円や、山形鉄道経営改善事業2,053万円、また、40ページをお開き願います。中段になりますが、置賜広域行政事務組合分担金2,767万4,000円や、41ページの中段、地上デジタル放送共聴施設整備事業907万8,000円の計上などで、合計7,718万7,000円を計上、7目行政事務改善推進費では、基幹系システム整

十

備推進事業4,773万3,000円や、情報系システム整備推進事業1,480万9,000円の計上などで6,376万3,000円を計上し、42ページをお開き願います。8目市民相談費では、中段の消費生活対策事業318万5,000円や、新たに地域自殺対策緊急強化事業104万3,000円などの計上で753万5,000円を計上、43ページの下段になりますが、10目長井ダム環境整備推進費では、長井ダム周辺環境整備事業などで976万9,000円を計上、44ページをお開き願います。11目諸費では1,053万6,000円を計上いたしまして、45ページの中段になりますが、2款1項合計で前年度対比2,873万7,000円増の9億3,159万9,000円を計上いたしております。

2項徴税费でございますが、46ページをお開き願います。2目賦課徴収費で、賦課徴収事務経費2,872万6,000円を計上するなどで、47ページになりますが、前年度対比2,342万5,000円増の1億7,474万2,000円を計上、3項戸籍住民基本台帳費は、前年度対比380万3,000円増の9,208万円を計上、4項選挙費につきましては、48ページをお開き願います。2目参議院議員通常選挙費1,770万9,000円、3目山形県議会議員選挙費420万3,000円、4目長井市長選挙費1,528万6,000円を計上するなどで、51ページをごらんいただきたいと思っております。4項選挙費合計で前年度対比2,540万2,000円増の5,362万1,000円を計上いたしております。

5項統計調査費は52ページをお開き願います。統計調査費は、国勢調査事業1,292万6,000円を計上するなどで、前年度対比911万5,000円増の2,415万6,000円を計上、6項監査委員費は、前年度対比630万5,000円減の1,670万8,000円を計上いたしました。

3款1項社会福祉費につきましては、1目社会福祉総務費で1億9,308万7,000円を計上しております。主な事業としましては54ページをお開き願います。国民健康保険事業9,473万1,000

円などがございます。2目身体障がい者及び知的障がい者福祉費は2億8,195万2,000円を計上しております。主な事業としましては、自立支援給付事業2億4,961万3,000円などがございます。3目老人福祉費では9億8,629万2,000円を計上しております。主な事業としては、老人福祉施設入所事業9,815万2,000円、56ページをお開き願います。56ページの中段の後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金2億5,381万9,000円、後期高齢者医療特別会計繰出金1億69万1,000円、介護保険特別会計繰出金3億4,906万9,000円などです。57ページ、6目医療給付費では、新たに市単独で拡充しました子育て支援医療給付事業7,105万9,000円などで1億5,512万1,000円を計上し、58ページをお開き願います。58ページの最下段でございますが、1項社会福祉費の合計は、前年度対比5,429万8,000円増の16億7,339万7,000円を計上いたしました。

59ページ、2項児童福祉費は、1目児童福祉総務費で5億9,704万2,000円を計上いたしております。主な事業としましては、保育園運営負担金4億1,281万1,000円、60ページをお開き願います。児童扶養手当支給事業1億661万2,000円などがございます。2目児童手当費は3,477万9,000円を計上、新たに創設されました3目子ども手当費は4億7,223万4,000円を計上いたしております。4目児童センター費では、致芳児童センター指定管理料を含む児童センター管理運営事業8,159万5,000円などで2億3,034万8,000円を計上し、62ページをお開き願います。最下段でございますが、2項児童福祉費合計で前年度対比3億7,119万1,000円増の13億3,696万2,000円を計上いたしております。

63ページ、3項生活保護費は、前年度対比5,678万8,000円増の2億8,576万9,000円を計上いたしております。

4款1項保健衛生費は、1目保健衛生総務費

で、母子保健事業2,011万円、64ページをお開き願います。中段になりますが、自立支援事業2,796万5,000円などで、1目1億9,298万2,000円を計上、2目予防費は、予防接種事業などで2,327万5,000円を計上し、66ページをお開き願います。5目保健事業費では、特定健康診査事業2,165万8,000円、健康増進事業2,946万円などで5,333万1,000円を計上いたしまして、68ページをお開き願います。1項保健衛生費合計で前年度対比261万3,000円増の3億331万8,000円を計上いたしております。

2項清掃費は、1目清掃総務費で浄化槽事業特別会計繰出金1,163万3,000円などで1,700万4,000円を計上、2目衛生処理費で一般廃棄物等収集運搬等事業8,712万5,000円、置賜広域行政事務組合分担金1億9,164万3,000円などで、2億7,876万8,000円を計上し、前年度対比1,245万7,000円増の2億9,577万2,000円を計上いたしております。

3項病院費は、前年度対比2,570万4,000円減の4億5,744万6,000円を計上いたしております。

5款1項労働諸費は、1目労働諸費で勤労者生活支援事業6,171万円などで6,656万5,000円を計上、70ページをお開き願います。2目勤労センター費では、勤労センター指定管理料を含む勤労センター運営事業1,307万5,000円の計上で、前年度対比522万1,000円減の7,964万円の計上となりました。

6款1項農業費は、1目農業委員会費で1,079万2,000円を計上、2目農業総務費は農業集落排水事業特別会計繰出金6,707万9,000円などで2億501万2,000円を計上、72ページをお開き願います。3目農業振興費では、市民直売所関係事業342万円などで1,726万7,000円計上、74ページをお開き願います。5目畜産業費では新たに長井牛（べこ）まつり事業費補助金などを織り込みながら252万8,000円を計上、6目農地費では、農地・水・環境保全向上対策事業

2,403万4,000円などで5,758万6,000円を計上し、少し飛びますが76ページ下段をごらんください。9目有機物再資源化対策事業費で2,060万8,000円の計上で、1項農業費合計、前年度対比2,170万2,000円減の3億2,220万8,000円を計上いたしております。

2項林業費は、1目林業総務費で1,040万5,000円を計上、2目林業振興費では市行造林事業748万6,000円などで1,990万4,000円を計上し、79ページをお開き願います。中段でございますが、2項林業費合計で前年度対比377万6,000円増の3,097万4,000円を計上いたしております。

7款1項商工費は、2目商工振興費で商工業振興事業3,211万4,000円、地場産業振興センター支援事業1億1,310万円などで1億6,483万9,000円を計上、80ページをお開き願います。

3目観光費では、公園等維持管理業務3,178万4,000円、81ページの上段になりますが、観光振興事業3,296万3,000円などで7,624万5,000円を計上し、82ページをお開き願います。4目企業振興費では791万5,000円を計上するなどで、1項商工費合計で前年度対比2,091万4,000円増の3億3,260万1,000円を計上いたしました。

8款1項土木管理費は、前年度対比249万6,000円増の2,415万円の計上であります。2項道路橋りょう費は84ページをお開き願います。

2目道路橋りょう維持費でまちづくり交付金事業2,100万円、85ページ、道路維持管理事業2,879万9,000円、道路除雪事業1億8,314万2,000円、地域活力基盤創造交付金事業8,016万円などで3億6,273万6,000円を計上し、86ページをお開き願います。3目の道路新設改良費では、まちづくり交付金事業4,170万円、87ページになりますが、豪雪対策事業2,300万円、地域活力基盤創造交付金事業8,800万円、地方道路整備事業6,010万円などで2億3,608万7,000円を計上するなどで、88ページをごらんくださ

+

い、2項合計で前年度対比8,524万7,000円減の6億1,093万2,000円を計上いたしております。

3項河川費は、1目河川費で河川公園等維持管理事業916万4,000円などで1,218万円の計上、2目水のまちづくり推進事業費では、地域活力基盤創造交付金事業3,700万円などで4,361万3,000円を計上し、90ページをお開き願います。3項合計で前年度対比573万6,000円減の5,579万3,000円を計上いたしました。

4項都市計画費は、2目公共下水道費で5億9,987万2,000円の計上、3目公園費では生涯学習プラザ運動公園整備事業4,002万8,000円などで5,512万円の計上、4目都市整備費では、まちづくり交付金事業1億4,910万円などで1億6,384万3,000円を計上するなどで、92ページをお開きください、4項合計で前年度対比1億568万2,000円増の8億4,320万6,000円を計上いたしております。

5項住宅費は、市営住宅管理事業643万7,000円などを計上し、前年度対比942万3,000円減の1,341万7,000円を計上いたしております。

9款1項消防費は、1目常備消防費で4億9,659万8,000円を計上、2目非常備消防費では非常備消防管理運営事業3,718万4,000円などで3,745万4,000円を計上し、94ページをお開き願います。3目消防施設費では1,417万1,000円を計上するなどで、95ページになりますが、1項消防費合計で前年度対比1,167万9,000円減の5億5,105万6,000円を計上いたしております。

10款1項教育総務費は、2目事務局費で外国語指導助手派遣事業842万6,000円、96ページをお開き願います。私立幼稚園就園支援事業1,705万8,000円、97ページ中段になりますが、学校図書等補助員配置事業377万2,000円、下段の特別支援等を必要とする児童・生徒サポート事業584万3,000円などで1億3,354万3,000円を計上するなど、98ページをお開き願います、1項合計で前年度対比1,774万8,000円増の1億

3,605万1,000円を計上いたしております。

2項小学校費は、1目学校管理費で学校施設管理事業4,160万9,000円、99ページの下段になりますが、小学校耐震補強等事業1,104万2,000円、教育用コンピューター整備事業441万4,000円などで1億2,354万1,000円を計上し、100ページをお開き願います。2目教育振興費では2,449万8,000円を計上いたしまして、2項合計で前年度対比412万1,000円減の1億4,803万9,000円を計上いたしております。

3項中学校費は、1目学校管理費で学校施設管理事業2,309万4,000円、スクールバス運行事業1,609万4,000円などで6,563万5,000円を計上し、102ページをお開き願います。2目教育振興費で2,162万6,000円を計上して、3項合計で前年度対比536万円減の8,726万1,000円を計上いたしております。

4項社会教育費は、104ページをお開き願います、3目公民館費で、指定管理料を含む各地区公民館施設管理事業6,890万円などで7,173万7,000円を計上、4目図書館費でも指定管理料を含む図書館運営事業3,047万4,000円などで3,452万円を計上、5目芸術文化費では、同じく指定管理料を含む文教の杜管理事業2,804万8,000円などで3,467万4,000円を計上し、少し飛びますが107ページをお開き願います。6目市民文化会館費では芸術文化振興事業400万3,000円、市民文化会館施設管理事業2,775万9,000円などで3,336万2,000円を計上、108ページをお開き願います。7目置賜生涯学習プラザ費では生涯プラザ施設管理事業2,857万8,000円などで2,882万8,000円を計上し、109ページの最下段になりますが、4項合計で前年度対比1,741万7,000円増の3億1,365万8,000円の計上となりました。

110ページをお開き願います。5項保健体育費は、1目保健体育総務費でスポーツ振興事業405万7,000円などで622万1,000円を計上、2目

体育施設費では市営スキー場管理運営事業495万1,000円、スポーツ施設等再生事業334万7,000円などで1,647万9,000円を計上し、112ページお開き願います。3目学校給食費では調理場運営事業6,244万2,000円、調理場施設管理事業1,288万5,000円などで8,618万9,000円を計上するなどで、5項保健体育費合計で前年度対比1,033万3,000円減の1億888万9,000円を計上いたしました。

11款1項公共土木施設災害復旧費は存目計上でございます。

114ページをお開き願います。12款1項公債費は、1目元金で11億4,138万6,000円、2目利子で1億7,735万2,000円を計上し、前年度対比4億3,204万7,000円減の13億1,873万8,000円といたしております。

13款1項予備費は、前年度対比800万円増の1,000万円を計上いたしております。

以上が平成22年度一般会計の概要でございます。

続きまして、議案第10号 平成22年度長井市用地特別会計予算の概要についてご説明申し上げますので、261ページをお開き願います。

議案第10号 平成22年度長井市用地特別会計予算の概要についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算につきましては、予算の総額を歳入歳出それぞれ前年度同額の421万2,000円と定めるものでございます。

以下、事項別明細書によりご説明いたしますので、264ページをお開き願います。

歳入1款1項一般会計繰入金は、平成17年度に運動公園整備事業用地購入費の財源として借り入れました土地取得事業債3億80万円に対する平成22年度分の償還利子相当額を一般会計から繰り入れるものでございまして、421万2,000円を計上いたしております。

次に、歳出でございますが、1款1項公債費は、長期債償還利子として歳入と同額の421万

2,000円を計上したものでございます。

続きまして、一般会計補正予算についてご説明申し上げますので、別にお配りしております補正予算書をごらんいただきたいと思います。

それでは、議案第38号 平成22年度長井市一般会計補正予算第1号の概要についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に歳入歳出それぞれ1,839万1,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ108億1,839万1,000円といたすものでございます。

このたびの補正につきましては、国の平成21年度第2次補正予算が12月15日閣議決定されて、重点分野雇用創造事業の予算1,500億円が緊急雇用創出事業の積み増しとして補正に計上され、市町村への配分基準が示されましたことを受けて、本市では22年度事業として取り組むこととなります雇用対策事業が主なものでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明いたしますので4ページをお開き願います。

歳入14款2項県補助金は、いずれの目も山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金からの補助金でございますが、2目民生費県補助金で411万4,000円、4目農林水産業費県補助金600万円、5目商工費県補助金で816万円、7目教育費県補助金225万9,000円を計上して、合計2,053万3,000円を増額いたしております。

15款2項財産売払収入は、1目不動産売払収入を214万2,000円減額いたしております。

次に歳出でございます。歳出につきましても、すべてが緊急雇用に係る委託料と賃金等になりますが、3款1項社会福祉費は、3目老人福祉費と6目医療給付費で合計411万4,000円を増額、6款1項農業費では、3目農業振興費で385万3,000円を増額いたしております。7款1項商工費は、まちなか観光デザイン事業委託料で816万円を増額いたしております。

6ページをお開き願います。10款4項社会教

十

育費では、文化資料を活用した観光のまち推進事業委託料で225万9,000円を増額いたしました。

以上でございます。よろしくご審査賜りますようお願いいたします。

## 議案第2号 平成22年度長井市国民健康保険特別会計予算

## 議案第4号 平成22年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計予算

## 議案第11号 平成22年度長井市後期高齢者医療特別会計予算

○蒲生光男委員長 次に、議案第2号 平成22年度長井市国民健康保険特別会計予算及び議案第4号 平成22年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計予算並びに議案第11号 平成22年度長井市後期高齢者医療特別会計予算の3件について。

宇津木正紀市民課長。

○宇津木正紀市民課長 おはようございます。

予算書の133ページをお開き願います。議案第2号 平成22年度長井市国民健康保険特別会計予算の概要についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ28億400万円と定めるものでございまして、前年度と比べて10.3%の減となりました。

第2条、第3条は、条文のとおりでございます。

それでは、事項別明細書によりましてご説明申し上げますので、139ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款1項1目一般被保険者国民健康保険税は5億6,534万7,000円で、収納率は現年課税分で93%を見込んでおります。2目退職被保険者等国民健康保険税は5,700万円で、収納率は現年課税分で97%を見込み、次

ページをお開き願います。1項国民健康保険税の総額は6億2,234万7,000円で、歳入総額の22.2%を占め、対前年度比8.2%の減となりました。

2款1項手数料は、おおむね保険税の督促手数料で50万1,000円でございます。

3款1項国庫負担金の合計は、次の141ページでございますが、5億4,520万9,000円で、療養給付費等負担金などでございます。2項国庫補助金1億4,809万1,000円は財政調整交付金などでございます。3款国庫支出金の総額につきましては6億9,330万円で、歳入総額の24.7%を占め、対前年度比16.8%の減額となりました。これは被保険者数の減少によるものでございます。

4款療養給付費交付金は1億8,832万2,000円で、歳入総額の6.7%を占めており、前年度比33.8%の増であります。1項1目療養給付費交付金は、支払基金から退職者の医療費分として交付され、2目の退職被保険者に係る交付金は、後期高齢者支援金相当額であります。

142ページをお開きください。5款前期高齢者交付金は5億6,822万8,000円は、前期高齢者の保険者間の財政調整でございます。

6款1項県負担金1,196万1,000円の主なものは、1目の高額療養費共同事業負担金で、高額療養費共同事業拠出金の4分の1です。2項県補助金1億1,282万8,000円は財政調整交付金で、普通調整交付金のおおむね9分の7相当額です。

7款1項1目高額療養費共同事業交付金は3,700万円で、県内市町村間の再保険であります。2目保険財政共同安定化事業交付金は2億5,000万円で、県内共同で保険財政安定化を図るためのものです。7款共同事業交付金の総額は2億8,700万円で、前年度比12.1%の増となりました。

次の143ページをごらんください。8款財産収入は24万5,000円で、給付基金積立金利子な

どでございます。

9款1項一般会計繰入金は9,456万3,000円で、財政安定化支援事業、出産育児一時金、保険税軽減相当分として繰り入れていただくものがございます。2項基金繰入金は1億6,585万円で、歳入不足から給付基金を取り崩して繰り入れするものがございます。

10款繰越金は3,000万1,000円を見込みました。

144ページをお開きください。11款延滞金360万円は保険税の延滞金でございます。2項預金利子は存目計上、3項雑入は、1目の一般被保険者第三者納付金300万円、5目雑入の償還金2,000万円などで、総額で2,525万3,000円でございます。

146ページをお開きいただきしたいと思います。歳出でございますが、1款1項1目一般管理費は1,768万4,000円で、728万6,000円の減額となりました。主なものは電算業務委託料と人件費でございます。2目国保連合会負担金は、平成23年度からのレセプト電子化への対応などのために527万円の増となり、1項全体で2,571万9,000円となり、対前年度比7.3%の減額でございます。

2項徴税費は国保税賦課徴収の郵便料と電算業務委託料でございます。3項運営協議会費は、国民健康保険法第11条に規定する国保運営協議会に関する経費でございます。4項趣旨普及費は、国保制度等の啓蒙のための印刷製本費でございます。148ページをお開き願います。5項収納率向上特別対策事業費は245万6,000円で、嘱託徴収員1名分の報酬でございます。この結果、1款総務費の合計は3,218万2,000円で、歳出総額の1.2%を占め、対前年度比6.9%の減となりました。

2款1項療養諸費は17億8,200万円で、対前年度比12.7%の減でございます。前年度に比べ一般被保険者療養給付費の減額が見込まれるためでございます。次の149ページでございます

が、2項高額療養費は2億100万円で21.9%の減でございます。3項移送費は前年度と同額、4項出産育児諸費は150ページをお開き願います。4項の1,386万円につきましては33件分の出産育児一時金でございます。単価につきましては42万円で前年度の10月から同額でございます。5項葬祭諸費は60件の葬祭費でございます。この結果、2款保険給付費の合計は19億9,998万円で、歳出総額の71.3%を占め、対前年度比13.5%の減となっております。

次に、3款後期高齢者支援金等は2億8,932万4,000円で、歳出総額の10.3%を占め、対前年度比10.3%の減でございます。

4款前期高齢者支援金等は53万8,000円であります。

次の151ページでございますが、5款老人保健拠出金は296万8,000円でございます。

6款介護納付金は1億3,783万5,000円で、歳出総額の4.9%を占め、対前年度比10.3%の増でございます。これは全国で支払われた介護費用に対して、被保険者数に応じた納付分でございます。

7款共同事業拠出金は、合計2億7,683万9,000円で、歳出総額の9.9%を占め、対前年度比8.7%の増となりました。1目高額療養費拠出金は、高額医療費に対応するため、国保連合会に拠出するもの、2目保険財政共同安定化事業拠出金は、県内共同で保険財政の安定化を図るためのものであります。

152ページをお開き願います。8款1項特定健康診査等事業費は1,813万3,000円で、主なものは一般会計繰入金です。2項保険事業費は301万8,000円で、主なものは郵便料と印刷製本費であります。

9款基金積立金と、次ページの10款公債費は存目計上でございます。

11款1項償還金及び還付加算金250万1,000円は、過年度の保険税過誤納還付金、2項貸付金

+

2,000万円は、高額療養費貸付金及び出産資金貸付金でございます。154ページをお開き願います。3項指定公費給付金は、前年度同額の50万円。12款予備費は保険給付費の1%に当たる2,000万円であります。

次に、老人保健医療費給付事業特別会計予算につきましてご説明いたしますので、177ページをお開き願います。

議案第4号 平成22年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計予算の概要についてご説明申し上げます。

第1条歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ121万5,000円と定めるものでございまして、前年度に比べて89.1%の減となりました。

平成20年度から後期高齢者医療への移行により、本特別会計につきましては22年度が最終年度となります。

それでは、事項別明細書によりましてご説明申し上げますので、182ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款支払基金交付金は45万5,000円で、歳入総額の37.4%を占め、対前年度比91%の減となりました。1項1目医療費交付金は支払基金から交付を受けるものでございます。

次に、2款国庫支出金は30万1,000円、対前年度比91%の減でございます。

3款県支出金は7万6,000円で、対前年度比90.9%の減であり、老人医療費の県負担分でございます。

4款繰入金は7万7,000円で、対前年度比91.7%の減、長井市一般会計からの繰入金でございます。

次の183ページでございますが、5款繰越金、6款1項延滞金及び加算金、2項預金利子は存目計上でございます。3項雑入30万2,000円は、交通事故などによる第三者行為納付金でございます。

次の184ページをお開きください。歳出につきましてご説明申し上げます。

1款総務費は9,000円で、国保連合会への手数料でございます。

2款1項1目医療給付費は100万円で、2款医療諸費の総額は120万4,000円で、歳出総額の99.1%を占め、対前年度比89.1%の減になりました。

3款諸支出金は存目計上でございます。

次に、後期高齢者医療特別会計についてご説明いたしますので、267ページをお開きください。

議案第11号 平成22年度長井市後期高齢者医療特別会計予算の概要についてご説明申し上げます。

第1条歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ3億97万2,000円と定めるものでございます。前年度に比べまして8.1%の増となりました。

それでは、事項別明細書によりましてご説明申し上げますので、272ページをお開き願います。

歳入からご説明申し上げます。1款1項1目特別徴収保険料は1億3,751万4,000円、2目普通徴収保険料は5,747万5,000円で、1款の総額は収納率99.05%を見込み1億9,498万9,000円で、歳入総額の64.8%を占め、平成22年度からの新保険料について4.9%の上昇などにより、対前年度比9.9%の増となりました。

2款使用料及び手数料は17万8,000円で、保険料の督促手数料であります。

3款繰入金は、1項1目事務費繰入金と2目の保険料軽減相当分としての一般会計繰入金、合わせて1億69万1,000円で、歳入総額の33.5%を占め、対前年度比0.2%の減となりました。

4款繰越金は500万円を見込み、次の273ページでございますが、5款1項延滞金及び過料は、

前年度同額の1万1,000円であります。2項償還金及び還付加算金についても、前年度同額の10万1,000円であります。3項と4項については存目計上でございます。

次の274ページをお開き願います。歳出でございますが、1款1項総務管理費は53万8,000円で、対前年度比2.2%の減となりました。2項徴収費は523万6,000円で、対前年度比21.7%の減であります。主なものは電算業務委託料です。

2款後期高齢者医療広域連合納付金は2億9,509万7,000円で、歳出総額の98.0%を占め、対前年度比8.8%の増となりました。納付金の内容につきましては保険料等負担金、保険基盤安定制度分、事務費負担金であります。

3款諸支出金については、保険料の還付金で前年度同額の10万1,000円でございます。

以上でございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

**議案第3号 平成22年度長井市公共下水道事業特別会計予算**  
**議案第6号 平成22年度長井市農業集落排水事業特別会計予算**

○蒲生光男委員長 次に、議案第3号 平成22年度長井市公共下水道事業特別会計予算及び議案第6号 平成22年度長井市農業集落排水事業特別会計予算の2件について。

鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 おはようございます。予算書の157ページをお開き願います。議案第3号 平成22年度長井市公共下水道事業特別会計予算の概要についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算につきましては、予算の総額を歳入歳出それぞれ前年度対比36.4%、

8億9,115万円減の15億5,728万円と定めるものでございます。

第2条の債務負担行為、第3条地方債につきましては、159ページの第2表及び第3表のとおり定めるものでございます。

第4条につきましては、一時借入金の最高額を10億円と定めるものでございます。

それでは、事項別明細書よりご説明申し上げます。

162ページをお開き願います。歳入よりご説明申し上げます。

1款1項1目下水道受益者負担金につきましては、2,302万5,000円を計上し、前年度対比9.9%、206万9,000円の増でございます。

2款1項1目下水道使用料は3億308万1,000円で、前年度対比0.7%、224万6,000円の増を見込んでおります。

3款1項1目下水道事業費国庫補助金は、管渠建設費補助金の1億3,210万円、前年度対比10.0%、1,470万円の減でございます。

4款1項1目一般会計繰入金につきましては5億9,987万2,000円で、前年度と比較しまして5.7%、3,257万4,000円の増でございます。

次ページの5款1項1目繰越金は、前年度繰越金見込み額50万円を計上いたしました。

6款1項1目延滞金は5万円、2項1目市預金利子及び3項1目雑入はそれぞれ1,000円の計上、7款1項1目下水道事業債は、一般分及び資本費平準化債、特別措置分など4億9,830万円の計上でございますが、主に前年度までの公的資金補償金免除繰上償還が終了し、前年度対比で64.7%、9億1,320万円の減となっております。

次に、歳出について主なものをご説明申し上げます。

164ページをお開き願います。1款1項1目公共下水道総務費につきましては、6,189万6,000円で、前年度対比18.4%、1,391万9,000円の減

+

でございます。主なものとしまして職員人件費のほか、下水道使用料徴収等事務委託料800万1,000円、電算システム共同アウトソーシング委託料250万5,000円、置広共同処理事務分担金124万4,000円、消費税納付税額1,240万9,000円などでございます。

2目公共下水道事業費は3億4,480万2,000円、前年度対比30.2%、1億4,941万1,000円の減で、建設改良に要する経費でございます。主な内容としまして、職員人件費のほか、次ページの13節委託料は1億5,480万円で、21年度から2カ年計画で実施しております下水道管理センターの沈砂池及びポンプ設備改築更新工事1億4,400万円、事業変更認可設計業務委託料680万円、下水道台帳整備委託料300万円などがございます。15節工事請負費は、汚水管路布設工事の補助単独分1億3,540万円で、前年度より1億5,880万円の減でございます。なお、工事の予定箇所については公共エリアの台町、それから特環エリアの新町、桐館、宮内地区、それぞれ地区の一部を予定しております。22節補償補填及び賠償金は、上水道配水管などを地下埋設物物件移転補償費2,650万円の計上でございます。

3目管渠管理費は782万7,000円で、前年度対比7.6%、55万3,000円の増で、汚水管路及び雨水路などの維持管理に要する経費で、管渠等の補修や雨水路しゅんせつ工事などを予定しております。

4目管理センター費は7,562万6,000円で、前年度とほぼ同額計上し、処理場運転管理に要する経費で、主なものとしまして施設の光熱水費1,289万円、汚泥の濃縮及び消臭用薬品など消耗品費380万円、次のページの運転・保守点検業務委託料3,263万4,000円、脱水ケーキ処分委託料2,080万円などがございます。

2款1項公債費につきましては、合計で10億6,712万9,000円の計上で、前年度対比40.6%、

7億2,843万1,000円の減でございます。1目の元金につきましては、長期債償還元金8億3,510万9,000円、2目利子につきましては、長期債償還利子など2億3,202万円の計上でございます。

以上が平成22年度長井市公共下水道事業特別会計予算の概要でございます。

続きまして、191ページをお開き願います。議案第6号 平成22年度長井市農業集落排水事業特別会計予算の概要についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算につきましては、予算の総額を歳入歳出それぞれ前年度対比35.4%、7,876万4,000円減の1億4,371万4,000円と定めるものでございます。

第2条債務負担行為、第3条地方債につきましては、193ページの第2表及び第3表のとおり定めまして、第4条一時借入金につきましては、最高額を7,000万円と定めるものでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。

196ページをお開き願います。歳入よりご説明申し上げます。

1款1項1目農業集落排水事業分担金につきましては、新規加入分など33万1,000円を見込み計上いたしました。

2款1項使用料及び手数料につきましては、ほぼ前年度同額の5,580万1,000円を計上し、今泉及び大久保地区の処理施設使用料などがございます。

3款1項1目一般会計繰入金は6,707万9,000円で、前年度対比7.6%、553万5,000円の減となっております。

4款1項1目繰越金50万円は、前年度繰越金を見込み計上いたしました。

次ページ、3つ飛ばしまして、6款1項1目下水道事業債につきましては、資本費平準化債

2,000万円の計上で、前年度より7,300万円の減となりましたが、主に前年度までの公的資金補償金免除繰上償還が終わったことによるものでございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。198ページをお開き願います。

1款1項1目農業集落排水事業総務費につきましては1,376万4,000円で、前年度対比9.1%、115万1,000円の増で、主なものとしまして職員人件費、使用料徴収等事務委託料100万円、消費税納付税額396万8,000円などがございます。

2目今泉排水施設運営費につきましては1,738万3,000円で、前年度対比51万8,000円の減で、処理施設の光熱水費395万6,000円、基本運転点検業務委託料1,160万円などが主なものでございます。199ページ、3目大久保排水施設運営費につきましては732万円で、前年度より59万1,000円の減で、主なもので処理施設の光熱水費160万1,000円、基本運転点検業務委託料388万4,000円などがございます。

2款1項公債費は、合計で1億524万7,000円の計上で、前年度と比べ42.8%、7,880万6,000円の減となりました。1目の元金につきましては、長期債償還元金7,031万8,000円、2目利子は、長期債償還利子など3,492万9,000円の計上でございます。

以上が平成22年度長井市農業集落排水事業特別会計予算の概要でございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

## 議案第5号 平成22年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計予算

○蒲生光男委員長 次に、議案第5号 平成22年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計予算の1件について。

遠藤健司企画調整課長。

○遠藤健司企画調整課長 議案第5号 平成22年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

予算書185ページをお開きください。第1条でございますが、歳入歳出予算総額をそれぞれ1億2,005万円と定めるものでございます。それぞれ前年度比7万9,000円の減でございます。

次に、事項別明細書によりましてご説明申し上げます。

188ページをお開きください。歳入の1款分担金及び負担金、1項負担金、1目山形鉄道運営助成費負担金でございますが、前年度同額の4,398万円を見込みました。これは県及び沿線自治体の財政支援に基づき山形県、南陽市、白鷹町、川西町からの負担金を見込んだものでございます。

2款財産収入、1項財産運用収入、1目利子及び配当金でございますが、基金運用による利子といたしまして前年度対比7万9,000円減の5万円を見込んだものでございます。

3款繰入金、1項1目一般会計繰入金でございますが、長井市の山形鉄道運営助成費負担分1,602万円を一般会計から繰り入れるものでございます。前年度同額となっております。2項1目基金繰入金でございますが、山形鉄道運営助成費といたしまして、平成22年度の支援額6,000万円を基金より繰り入れて歳入として見込んだものでございます。前年度同額となっております。

続いて、189ページをごらんください。歳出でございます。

1款1項山形鉄道助成費、1目運営助成費といたしまして6,000万円を計上いたしました。前年度同額でございます。平成22年度の県及び長井線沿線自治体の財政支援方針に基づきまして運営助成費を計上するものでございます。

次に、2款1項1目基金積立金でございます

が、自治体よりの負担金4,398万円、長井市一般会計からの繰入金1,602万円、基金の運用利子5万円の合計6,005万円を基金条例によりまして一たん基金として積み立てるものでございます。前年度と対比いたしまして7万9,000円の減でございます。

以上、平成22年度山形鉄道運営助成事業特別会計予算の概要について説明を申し上げます。この説明につきましては、過日の基金運用管理委員会のご承認をいただきまして提出させていただくものでございます。よろしくご審査賜りますようお願いいたします。

## 議案第7号 平成22年度長井市訪問看護事業特別会計予算

○蒲生光男委員長 次に、議案第7号 平成22年度長井市訪問看護事業特別会計予算の1件について。

中井 晃健康課長。

○中井 晃健康課長 議案第7号 平成22年度長井市訪問看護事業特別会計予算の概要について説明を申し上げます。

207ページをお開きください。第1条の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1,997万4,000円とするものでございます。

事項別明細による説明の前に、平成22年度の訪問看護事業の運営方針についてご説明を申し上げます。

昨年度、これからの訪問看護事業の需要増を見込みまして、看護師を増員いたしまして受け入れ体制の拡大を図るという計画をさせていただきました。しかし、残念ながら看護師の確保ができませんでした。また、利用希望の問い合わせも少なく、自宅での療養より施設での看護、介護を希望される方の方が多いというような感

じがいたしました。こうしたことを踏まえまして、今後の訪問看護事業のあり方について再検討が必要ではないかというふうに考えております。

このため、平成22年度は、現在の職員体制で事業を継続しながら検討を行うとし、利用者数、訪問回数も現体制での見込み数で計上させていただいたものでございます。

また、山形県緊急雇用創出事業の臨時特例基金事業を活用いたしまして、訪問看護事業の臨時の事務職員1名を雇用をいたす計画をさせていただきました。これによりまして、保健師、看護師ができるだけ訪問に専念できるという体制をとらせていただこうとするものでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げますので、210ページをお開きください。

歳入でございますが、1款1項療養費交付金、1目訪問看護費交付金につきましては896万4,000円を計上いたすものでございます。前年度と比較いたしまして522万9,000円、36.8%の減でございますが、21年度の利用者をもとに延べ約1,200回の訪問看護を見込んだものでございます。

2款1項1目利用料99万6,000円につきましては、利用者の負担分1割相当を見込ませていただきました。

3款県支出金、1項県補助金、1目訪問看護費県補助金といたしまして168万円を計上しておりますけれども、これは山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業で、訪問看護事業の臨時の事務職員1名を雇用する分と事務費につきましての補助金でございます。

4款繰入金、1項1目一般会計繰入金といたしまして823万3,000円、5款1項1目繰越金といたしまして10万円を計上させていただきました。

6款1項1目雑入は存目計上でございます。

続きまして、歳出についてご説明を申し上げます。212ページをお開きください。

1款1項事業費、1目訪問看護事業費につきましては1,997万4,000円を計上いたすものでございます。前年度と比較いたしまして99万6,000円の増でございます。事業費の内訳でございますが、2節から4節までは職員2名分の人件費及び臨時職員の共済費でございます。7節賃金398万2,000円につきましては、臨時の看護師1名、パートの看護師2名、並びに臨時の事務職員1名分の計上でございます。11節需用費につきましては、訪問看護時に使用いたします公用車の燃料費、修繕料、医薬材料費及び消耗品費でございます。12節役務費につきましては、電話料、介護サービス情報公開の手数料、13節委託料につきましては、臨時職員の健康診査の委託料でございます。14節使用料及び賃借料につきましては、パソコンと訪問看護支援ソフトのリース料並びにコピー機の使用料でございます。こちらの方のパソコン並びに訪問看護支援ソフトにつきましては、国保連合会等への請求事務や患者情報の管理に使用をするものでございます。19節負担金補助及び交付金につきましては、山形県訪問看護ステーション連絡協議会の会費でございます。27節公課費は、訪問看護の際に使用いたします車の重量税分でございます。

以上、よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

### 議案第8号 平成22年度長井市介護保険特別会計予算

○蒲生光男委員長 次に、議案第8号 平成22年度長井市介護保険特別会計予算の1件について。

船山祐子福祉事務所長。

○船山祐子福祉事務所長 議案第8号 平成22年度長井市介護保険特別会計歳入歳出予算の概要についてご説明申し上げます。

予算書の219ページをお開きください。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ25億3,565万2,000円と定めるものでございます。平成21年度の予算と比較して1,882万4,000円、0.7%増でございます。

以下、事項別明細書によりご説明申し上げますので、225ページをお開きください。

初めに、歳入でございますが、1款1項介護保険料は、第1号被保険者の保険料で300万6,000円、0.7%増の4億2,478万6,000円でございます。

2款使用料及び手数料は、第1号被保険者の介護保険料督促手数料で、前年同額の14万円でございます。

3款1項国庫負担金は、給付費に対する法定負担分で488万5,000円、1.2%増の4億2,490万5,000円、2項国庫補助金は、1目保険者の財政力に応じた調整交付金1億7,117万円と、226ページをお開きください。2目地域支援事業に対する交付金で2,382万8,000円、合計165万4,000円、8.6%増の1億9,499万8,000円でございます。

4款1項支払基金交付金は、給付費に対する第2号被保険者の法定負担分として、1目介護給付費交付金7億2,427万3,000円と、2目地域支援事業支援交付金1,146万7,000円、合計で441万円、0.6%増の7億3,574万円でございます。

5款1項県負担金は、保険給付費に対する法定負担分で3億5,972万6,000円でございます。2項県補助金は、地域支援事業交付金で2.9%増の1,191万3,000円でございます。

6款財産収入は、介護給付費準備基金積立金利子で25万円でございます。

7款1項一般会計繰入金は、保険給付費に対

+

する市の法定負担分である1目介護給付費繰入金3億177万8,000円、2目地域支援事業に対する繰入金1,870万円及び3目総務管理費や賦課徴収費などの事務費繰入金2,859万1,000円、合計で557万4,000円、1.6%増の3億4,906万9,000円でございます。2項基金繰入金は、1目介護給付費における財産不足を介護給付費準備基金から2,748万4,000円、2目介護従事者処遇改善臨時特例基金から655万7,000円、合計で46万1,000円、1.4%減の3,404万1,000円を繰り入れるものでございます。

228ページをお開きください。8款諸収入、1項は存目計上、2項雑入に地域支援事業利用者負担金など8万3,000円を計上いたすものでございます。

次に、歳出についてご説明申し上げますので、229ページをごらんください。

1款1項総務管理費は、被保険者や受給者の管理に必要な電算処理経費などで108万9,000円、13.1%減の724万4,000円でございます。2項徴収費は、第1号被保険者の保険料賦課徴収経費で2.3%減の132万円でございます。3項介護認定審査会費は、230ページをお開きください。認定調査について、新規申請者につきましては職員2名を雇用し、市で直接調査を行うことから、3項の合計を685万5,000円、52.1%増の2,001万6,000円でございます。4項趣旨普及費は58万円、5項地域ケア包括会議費は、地域密着型サービスの指定審査等の会議時委員報酬などで14万2,000円でございます。

2款1項介護サービス等諸費は、要介護認定者に対する保険給付費でございます。平成22年12月に特別養護老人ホームが増床予定で、給付費の増加が見込まれることから2,856万3,000円、1.4%増の21億3,585万1,000円を計上いたしました。2項介護予防サービス等諸費は、要支援認定者に対する保険給付費でございます。介護予防事業の効果などから1,220万円、7.2%減

の1億5,796万6,000円を計上いたしました。3項その他諸費は、国保連合会に支払う審査支払手数料で301万9,000円でございます。

次ページをお開きください。4項高額介護サービス等費につきましては176万3,000円、5.4%増の3,421万3,000円を計上いたしました。5項高額医療合算介護サービス等費は、医療と介護に係る自己負担をそれぞれ合算し、限度額を超えた分のうち介護保険に係る部分は高額医療合算介護サービス費として給付させていただくもので、前年度同額308万4,000円を計上いたしました。

6項特別短期入所サービス費は、短期入所サービスの市町村独自の上乗せ給付でございます。78万5,000円で、全額1号被保険者の保険料で賄うこととなっております。7項特定入所者介護サービス等費は、食費、居住費の低所得者に対する軽減分の給付費で433万8,000円、5.1%減の8,010万5,000円でございます。

3款財政安定化基金拠出金は1,000円で皆減でございます。

4款地域支援事業費は、総合的な介護予防の取り組みを行う事業で、1項介護予防事業費は介護予防特定高齢者施策事業費として生活機能評価事業で対象者を選定し、足腰若がえり教室を始めとする事業と、介護予防一般高齢者施策事業として、次ページをお開きください。すべての高齢者を対象とした予防事業で、主なものはミニデイサービス事業などの介護予防事業でございます。合計89万4,000円、2.4%増の3,830万6,000円でございます。

2項包括的支援事業・任意事業費は、要支援者のケアプランの作成や権利擁護を始めとする総合相談事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業、任意事業として長井市独自の生活支援事業費、主に高齢者見守りお伺いコール事業などで、236ページをお開きください、合計104万5,000円、2.4%減の4,246万9,000円でございます。

す。

5 款基金積立金は、積立利子で25万円でございます。

6 款諸支出金は、第1号被保険者の保険料還付金で30万1,000円でございます。

7 款予備費は、前年度同額の1,000万円でございます。

以上、平成22年度長井市介護保険特別会計予算の概要についてご説明申し上げます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

### 議案第9号 平成22年度長井市浄化槽事業特別会計予算

○蒲生光男委員長 次に、議案第9号 平成22年度長井市浄化槽事業特別会計予算の1件について。

鈴木一則建設課長。

○鈴木一則建設課長 おはようございます。

議案第9号 平成22年度長井市浄化槽事業特別会計の概要についてご説明申し上げます。

245ページをごらんください。第1条歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ前年度比80万1,000円増の0.7%増の1億1,720万5,000円と定めるものです。

第2条債務負担行為は第2表、第3条地方債は第3表のとおり定めるものでございます。

第4条一時借入金は5,000万円と定めるものでございます。

以下、事項別明細書よりご説明いたしますの、250ページをお開きください。

歳入でございますが、1 款分担金及び負担金、1 目浄化槽事業分担金は前年度同額、2 款使用料及び手数料、1 目浄化槽使用料では、管理基数増により前年比1.6%、282万円増の2,033万7,000円、3 款国庫支出金、1 項国庫補助金、

1 目特定地域生活排水処理事業国庫補助金では、補助金基準額の見直しによりまして323万5,000円増の2,683万3,000円、4 款繰入金、1 目一般会計繰入金は51万8,000円増の1,163万3,000円でございます。

5 款繰越金は前年度同額、6 款1 項、2 項につきましては存目でございます。3 項1 目雑入では、消費税還付金で87万2,000円減の49万7,000円、7 款市債、1 目下水道事業債では、国庫基準額の見直しによりまして国庫補助金の増によりまして490万円減の4,560万円でございます。

続いて、歳出についてご説明申し上げます。

252ページをお開きください。1 款浄化槽事業費、1 項浄化槽事業費、1 目浄化槽事業総務費では、主なものとして浄化槽管理基数の増によりまして、前年度より20.7%、299万8,000円増の1,745万円、2 目浄化槽事業費では、人件費等の減額によりまして3.1%、301万5,000円減の9,472万9,000円でございます。

2 款公債費、1 項公債費、1 目元金では、長期債償還元金32万9,000円増の63万6,000円、2 目利子では、長期債償還利子48万9,000円増の439万円でございます。

以上が平成22年度長井市浄化槽事業特別会計の概要でございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

### 議案第12号 平成22年度長井市水道事業会計予算

○蒲生光男委員長 次に、議案第12号 平成22年度長井市水道事業会計予算の1件について。

鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 議案第12号 平成22年度長井市水道事業会計予算の概要についてご

説明申し上げます。

予算書277ページをお開きください。初めに、第2条の業務の予定量につきましては、給水戸数、1日平均給水量、年間総給水量を平成21年度決算見込みの推計からそれぞれ記載のとおり予定いたすものでございます。主な建設改良事業の概要につきましては、第4次拡張事業費2億3,600万円、水源開発費1,426万6,000円、配水施設整備費5,000万円、資産購入費290万円を予定いたすものでございます。

次に、第3条収益的収入及び支出につきましては、収入の事業収益の総額を前年度より0.5%、363万3,000円減の6億5,753万4,000円を予定しまして、支出では事業費用の総額を前年度対比1.8%、1,156万6,000円増の6億4,583万4,000円を予定いたしまして、単年度純利益で消費税抜きの48万円の黒字となる予算編成をさせていただいたところでございます。

次に、278ページをお開き願います。第4条資本的収入及び支出につきましては、収入の総額を前年度より34.5%、1億2,698万円減の2億4,146万5,000円、支出の総額を48.2%、4億8,567万円減の5億2,148万6,000円を予定いたすものでございます。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億8,002万1,000円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額並びに過年度分損益勘定留保資金利益剰余金で補てんいたすものでございます。

第5条企業債につきましては、借入限度額などそれぞれ表のとおり定めまして、第6条につきましては、一時借入金の限度額を1億円と定めるものでございます。

第7条から第9条までにつきましては、条文のとおり定めるものでございます。

続いて、詳細につきましてご説明申し上げます。

307ページの実施計画説明書をごらんいただ

きたいと思います。初めに、収益的収入及び支出についてご説明申し上げます。

収入の1款1項営業収益につきましては、前年度対比0.4%、280万4,000円減の6億5,626万6,000円を予定いたすものでございます。

内訳としまして、1目給水収益につきましては、前年度見込み決算の推計から前年度対比1.7%、1,112万5,000円減の6億2,537万5,000円を計上いたしました。なお、事業総収益に占める給水収益の割合は95.1%となっております。2目加入金については、新規及び口径変更など123件を見込み、629万5,000円を計上し、3目受託工事収益については100万円の計上でございます。4目その他営業収益については、前年度より172万7,000円増の1,409万6,000円で、次ページ、各種手数料、消火栓移設及び修繕負担金、下水道使用料及び農業集落排水施設使用料収納業務受託料などを見込み計上いたしております。5目他会計繰入金では、公共下水道事業に伴う給水管布設替工事分として950万円を見込み計上いたしております。2項営業外収益については、預金利息、雑収益、県補助金など125万8,000円を見込み、3項特別利益では、過年度損益修正益の1万円を見込み計上いたしました。

次に、309ページをごらんください。支出でございますが、1款1項営業費用につきましては、前年度対比1.3%、672万2,000円増の5億817万6,000円を予定いたすものでございます。

内訳でございますが、1目浄水及び配給水費については前年度より2.6%、368万円減の1億3,543万4,000円を計上し、主なものとして職員人件費、14節委託料は、上水道施設運転業務委託料のほか、施設管理業務や漏水調査、量水器取替業務委託料など5,317万8,000円を計上いたしまして、次ページ、17節修繕費は、配水施設修理や量水器更新修理など2,020万円を計上、20節動力費については、浄水場や中継場な

ど11施設の動力費として、前年度より200万9,000円減の2,766万円を計上いたしております。2目受託工事費については100万円の計上で、受託工事収益と相賄う費用でございます。

続いて、311ページをごらんください。3目業務及び総係費につきましては、前年度対比15.4%、1,092万6,000円減の6,006万5,000円を計上いたしております。主なものとして職員人件費のほか、4節賃金で水道料及び下水道使用料の未収金徴収対策などの雇用賃金などを計上させていただいております。13節広告料は、水道水の利用拡大のためPR用として「長井 花のしずく」ボトルドウオーターを前年度に引き続き5,000本を製作予定でございます。

続いて、312ページ、14節委託料については、電算システム共同アウトソーシング委託料など728万9,000円を計上し、15節手数料では収納取扱金融機関取扱手数料など247万9,000円を計上し、本年5月から使用者のさらなる利便性の向上を図る目的で、上下水道料金のコンビニ収納を開始する予定で、それらの取扱手数料等80万円を計上させていただきました。16節賃借料については、会計システムや端末機などの賃借料173万円を計上しております。

313ページ、4目減価償却費につきましては前年度対比3.5%、3,490万8,000円増の2億9,416万円で、建物、構築物など有形固定資産の減価償却費の見込み額でございます。なお、3カ年で工事してまいりました清水町浄配水場が完成し、今年度から本勘定として費用化することにより増となっております。5目資産減耗費につきましては、石綿セメント管更新事業などにより生じた固定資産の除却分などの見込み額1,750万7,000円を計上しております。

2項営業外費用につきましては、企業債利息、雑支出などを見込み前年度より4.0%、514万4,000円増の1億3,445万8,000円の計上でございます。3項特別損失については320万円を計

上し、冬期概算料金納入により精算還付金などでございます。

314ページをお開き願います。続きまして、資本的収入及び支出についてご説明申し上げます。

収入でございますが、1款1項企業債につきましては、水道水源開発施設整備事業債、第4次拡張事業債、老朽管更新事業債など前年度比36.5%、9,300万円減の1億6,200万円を計上いたすものでございます。2項分担金及び負担金については、消火栓設置工事として前年度同額の240万円を一般会計から負担いただくものでございます。3項国庫補助金については、水道水源開発施設整備費、老朽管更新事業の国庫補助金5,603万9,000円を予定いたしまして、4項その他の補償金については、公共下水道事業に伴う配水管布設替補償費として1,700万円を見込み計上し、5項出資金については、水源開発事業に係る一般会計からの出資金402万6,000円でございます。

次に、315ページ、支出でございますが、1款1項建設改良費につきましては、前年度に比べ47.0%、3億189万5,000円減の3億4,078万5,000円を予定いたすものでございます。清水町浄配水場更新事業の完了や長井ダム負担金の減など各事業量の減少による減でございます。

内訳でございますが、1目事務費については、職員人件費など3,761万9,000円を計上し、2目第4次拡張事業費につきましては、工事請負費及び設計委託料など2億3,600万円の計上で、老朽管更新事業、平山浄水場の高圧受変電設備更新工事などの実施を予定してございます。3目水源開発費については、長井ダム使用権に係る負担金で、平成22年度長井ダム建設事業費24億1,577万1,000円の0.5%、1000分の5に相当する負担額に企業債利息を含め1,426万6,000円の計上でございます。

316ページをお開き願います。4目配水施設

+

整備費につきましては、国県道及び市道などの道路改良工事及び公共下水道工事に伴う配水管布設替工事や消火栓新設工事など5,000万円を予定いたしております。5目資産購入費は290万円で、量水器や機械及び装置購入費などでございます。

2項企業債償還金につきましては、本年度において繰上償還の予定がないことから、前年度より50.4%、1億8,377万5,000円減の1億8,070万1,000円を計上いたしましたところでございます。

以上が平成22年度長井市水道事業会計予算の概要でございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

○蒲生光男委員長 ここで昼食のため暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午前11時54分 休憩

午後1時00分 再開

+

+

○蒲生光男委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

## 平成22年度長井市各会計予算案に関する総括質疑

○蒲生光男委員長 概要の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。

### 高橋孝夫委員の総括質疑

○蒲生光男委員長 初めに、順位1番、議席番号10番、高橋孝夫委員。

○10番 高橋孝夫委員 私は、市民生活の向上を願いながら総括質疑を行います。

通告をしております3点について質問を申し上げますので、簡潔で明快に答弁をいただきますようお願いをしておきたいと思っております。

質問の第1は、国、県が進めている電子政府・電子自治体構想についてです。過日の一般質問で時間の関係で省略をしてしまいました。大変恐縮ですがお願いをしたいと思います。

平成15年9月、当時の政府が電子政府・電子自治体構想を示したことはご案内のとおりです。コンピューターやネットワークなどの情報技術を行政のあらゆる分野に活用し、国民の利便性の向上と行政運営の簡素化、効率化、信頼性及び透明性の向上を図るということを目的に、役所に行かなくても24時間、365日、いつでも多様な情報の入手や、各種行政手続が容易、迅速にできることとなり、国民や企業の利便性が大幅に向上しますというものでありました。

この方針を受けまして、山形県は従来対面により行ってきた各種申請手続業務をオンライン化することにより、住民サービスの向上、地方公共団体の業務の軽減化を行うとして、平成19年3月から県内35市町村すべてが入った形で県の電子申請システムが稼働しています。この電子申請システムに要した構築経費は4億8,195万円、うち長井市の負担は612万8,294円、運用経費は年間9,439万5,000円、長井市は年間120万291円を負担をしています。稼働期間は平成19年度から23年度までの5年間ということでありました。既に丸3年を経過しようとしているわけですが、この間、どのように機能し、住民が利活用しているのか、まず、企画調整課長に伺います。

この3年間で、この電子申請システムがどの